

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	g0050		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	『現代文B』（教育出版）『現代文重要キーワード』（旺文社）					
担当教員	田嶋 彩香					
到達目標						
本授業では近代以降の文学作品を扱い、「読む力」「考える力」「知識・理解」の学力の向上を重視する。文章を的確に読み書きできる能力や語彙力の向上はもちろんだが、様々な時代の様々な個性あふれる作品・作家にふれながら、日本の歴史や文化なども学び、文学作品への興味関心と幅広い視野で世界を眺める力を養う機会としてほしい。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	文学的な文章について、人物・情景・心情等の描写を深く読み取り、自分の考えを深めることができる。		文学的な文章について、人物・情景・心情等を読み、感想を持つことができる。		文学的な文章について、深く読み味わうことができない。	
評価項目2	作品の舞台となった時代や社会状況等を的確に理解し、作中人物の境遇・性格・心理を把握、意見をまとめることができる。		作品の舞台となった時代や社会状況等に興味関心を持ち、作中人物の境遇・性格・心理をとらえ、意見をまとめることができる。		作品の舞台となった時代や社会状況等を理解できず、意見をまとめることができない。	
評価項目3	現代文重要キーワードに対する知識を深め、ほぼ全てのキーワードを使いこなすことができる。		現代文重要キーワードを理解したり、使ったりすることに取り組むことができる。		現代文重要キーワードについて関心を持てず、キーワード学習に取り組むことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	新旧問わず近代以降の個性あふれる文章にふれながら、文章を的確に読み取ること、自分の考えを深め発展させること、漢字や語句等に対する知識を増やすこと、日本の歴史や文化や伝統を幅広く知ることを目指した授業とする。本年度は特に「視点」の問題に重点をおき授業を進めていく。					
授業の進め方・方法	基本的に教科書に沿ってスライドを利用した講義形式で行う。					
注意点	予習として前もって作品を読み、わからない語句等を辞書で調べてくることが望ましい。授業内容や方法は、新型コロナウイルス感染の拡大など社会情勢の変化によって変更する可能性もあるが、その都度お知らせをする。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 現代文重要キーワード	授業の方針、サブテキストの取り組み方、小テスト・課題提出に関する諸注意等を理解する。		
		2週	現代文重要キーワード 文学作品①	作品を通読し概要をつかむ。作品のテーマや寓意、ナンセンス表現のおかしみを味わう。(MCC)		
		3週	現代文重要キーワード 文学作品①	寓意的・ナンセンス表現を読み取り、登場人物の生き様、作者の批判的精神を理解する。(MCC)		
		4週	現代文重要キーワード 文学作品①	登場人物それぞれの視点に立って作品を読み返し、それぞれの描かれ方やそれぞれの人物像を把握し直す。(MCC)		
		5週	現代文重要キーワード 文学作品①	作品背景を調査しまとめプレゼンを行う。さまざまな調査報告を聞く中でさらに作品解釈と理解を深める。(MCC)		
		6週	現代文重要キーワード 文学作品②	作品の舞台や場面、付与された象徴的な意味などにふれ、作品がうまれる様々なあり方を理解する。(MCC)		
		7週	現代文重要キーワード 文学作品②	短編小説としての作品の構成を意識しつつ、登場人物の性格やストーリーの展開の過程などを丁寧に読み取る。(MCC)		
		8週	現代文重要キーワード 文学作品②	作者の特異な表現による作品を読み味わいつつ、語句を調べたり、表現上の特徴を分析することで、豊かな語彙力や幅広い表現力を養う。(MCC)		
	2ndQ	9週	現代文重要キーワード 文学作品②	さまざまな視点から作品の主題について考えることで、本作品を読むことの意義について意識し作者の他作品への興味関心を持つ。(MCC)		
		10週	現代文重要キーワード 文学作品③	教科書の注釈およびスライド注釈を適宜補いながら、擬古文体の特徴や魅力を味わう。(MCC)		
		11週	現代文重要キーワード 文学作品③	作品の舞台となった時代や社会状況等を把握し、作中人物の境遇・性格・心理を把握する。(MCC)		

		12週	現代文重要キーワード 文学作品③	主人公の意識の変化を整理し、その心理を情景描写との関係で捉える。(MCC)
		13週	現代文重要キーワード 文学作品③	作者の生い立ちや文学史的な基本事項を学ぶ。その上で作品と向き合い考えを深める。(MCC)
		14週	現代文重要キーワード 文学作品③	登場人物それぞれの視点に立って作品を読み返し、それぞれの描かれ方やそれぞれの人物像を把握し直す。(MCC)
		15週	総括	今までの授業内容をふまえて、理解を深め直す。(MCC)
		16週		

評価割合

	授業内試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題など	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0